

花巻南

かまきり風

Goal

To review describing people,
fashion and
talent

特集

*Life as an ALT



PTA声掛運動



PTA環境美化活動



避難訓練



野球応援

第68回全国高等学校PTA連合会大会 佐賀大会報告

PTA会長 菊池 彰 洋

八月二十日、二十一日の二日間、佐賀県総合体育館を主会場に、「広めよう高めよう 慈しむ心」君たちがつくる希望の明日ををテーマに、全国高等学校PTA連合会大会が盛大に開催されました。テーマには、混迷の時代を生き抜く子どもたちが、学校・家庭・地域・社会において慈しむ心を忘れず、私たちPTAがその支えとなり、希望の明日をつくっていくための大いなる一歩を踏み出す大会にしたいという願いが込められています。

その想いの中開催された大会の基調講演は、講師にレモンさんをお招きして、「レモンさんのビタミントーク！〜慈しみの合言葉！We are シンセキ〜」という演題で行われました。私自身レモンさんを存じ上げなかったのですが、ラジオDJ・メンタルコーチ・大学の非常勤講師の他、小学校のPTA会長を五年間務めた経験をもとに、講演や著書など多岐にわたり活躍されている方でした。その講演の中で一番心に残っているのは、「保護者は子どもの”信頼の五つ星になろう」という言葉です。「この人は世界一、自分のことをわかってくれている」という理解者、「応援している」という応援者、「信じてくれている」という信者、「認めてくれている」という承認者、「気づかせてくれる」という指導者。この役割をはみ出さない範囲で、いろんな生き方のメニューを並べてあげ、保護者は見守っていかなければいけないということでした。ただ、この「見守る」というのは意外と難しいことですが、「あなたはそう思うんだね」と同調しながら、子どもの話しを否定せずに聴くだけで、「見守っているよ」ということは十分に伝わるそうです。

子どもたちが、親が、地域が「慈しむ心」を忘れることが無いように私たちPTAも、取り組んで参りたいと思います。最後になります
が、今後ともPTA活動に対しまして、ご指導とご支援頂きますよう、お願い申し上げます。

PTA副会長 福盛田 満 広
八月二十日、二十一日の二日間佐賀県総合体育館大競技場を主会場に「広めよう高めよう 慈しむ心」君たちが作る希望の明日ををメインテーマに第六十八回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会が、盛大に開催されました。

慈しむ心とは、人の思いを汲み取れる、優しい心と言う意味です。分科会は七つに分かれ其々記念講演や高校生によるアトラクションがあり、とても素晴らしい内容でした、今回は藤村先生、PTA菊池会長と副会長の私三人で参加させて頂きました。



基調講演では山本シユウさんの講演がありました。特に印象に残った言葉を紹介させていただきます。
「人間は皆、おかげさまに、ささえられて生きている」「あなたの命は、貴方だけのものじゃない」ということ。困った時は遠慮なく、助けてと叫んでいい。私もそう思います。価値観が多様化しつつある今、自分が納得出来る、道や進路を選ぶにはどのような心構えが、大切なのだろうか？ このような時代だからこそ、求められるのは、人を思いやる優しい気持ちを持った子供だと思えます。どの子どもみんなその子ならではの強みを既に持っている。だから、親は教えるのではなく「気付かせる」、怒るのではなく「考えさせる」、押しつけるのではなく「自信をつけさせる」それが大事だと気づけば世界一の応援者になれるはず。そのためにも、先生、PTA、子供達がお互い協力しながら、希望ある明日を作ると信じています。

最後になりますが、今後とも花巻南高校のPTA活動に対しましてご指導とご支援頂きますようお願い致します。



母親委員会活動報告

母親委員 伊勢 美智子

母親委員会では、学校の玄関周りのプランターに花を植えました。入学式前の三月にはパンジーを、花南祭前の八月には日日草の花を植替えました。花苗、土、プランター等は学校で準備をして頂き、委員の皆さんで作業をしました。

そして、もう一つの大事な活動が、花南祭での『まんまCAFÉ』という休憩・談話室兼喫茶室の運営です。

喫茶コーナーは、例年好評の手作りのおやつがメインで、今年は委員の皆さんにたくさん作って頂きました。「がんばり」十四ホール、一ホールを八等分にカットし準備しました。「花南スイーツ」コーンフレックとマシュマロで作るお菓子も数えきれないほどたくさん。他に、パウンドケーキと梅ゼリーもありました。午後の早い時間には完売し、とても好評でした。無料で提供するホットコーヒー、麦茶、お菓子も喜んで頂きました。

また、今年は展示コーナーの企画として、「がまぐち財布・ばねぐちポーチ」を手作りし展示・販売することになりました。あらかじめ、三年生の委員で材料を購入し、財布とポーチで四十個分の下準備をしました。制作当日は、委員の皆さん

や参加者どうし和気あいあいとした雰囲気の中、チクチクと手縫いやミシンがけをして作業を進めました。裁縫の好きな人、久しぶりに針を持った人と様々ですが、手作りならではの個性あるかわい

い作品が出来ました。来場した方々も出来栄の良さと百〜二百円の低価格に喜んで購入して頂きました。

何も解らずに受けた母親委員でしたが、たくさんのお会いがあり、楽しく活動する事が出来ました。担当の伊藤先生、佐藤先生、委員の皆さん、先生方、生徒の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。楽しい思い出をありがとうございます。



第18回母親会員交流会

母親委員 早川 志保子

九月二十七日サンセール盛岡にて県高P連母親会員交流会が行われました。

午前は盛岡地区保護司会理事・盛岡市子ども会育成会連絡協議会会長、鎌田まさ子先生による『人は変わる〜今を支える心のリレー〜』と題した講演会でした。保護観察をうける事になった少年の例をあげ、ビデオを観ながら、時折、体験を交えながらのお話でした。人を態度や服装で判断しないで下さい。いろんな道を歩んで来て、それがあって今がある。いろんな人とのリレーが、パワーになって更生していける。印象的な言葉でした。改めてコミュニケーションの大切さ、子育ての大切さを感じ学ぶことが出来ました。

午後は、平館高校さんと住田高校さんの事例発表でした。平館高校さんはPTA活動に『ひつつみレンジャー』という有志によるチームが、揃いのエプロン、色違いのTシャツとバンダナで、ひつつみの振る舞いをして、生徒との交流を行っている。体育祭などで活動。年々活動の輪が広がり多くの人が参加しているそうです。とても活気あふれる発表でした。住田高校さんは、地域との縦のつながり

を大切にしているそうです。なんと、給食が無料で提供されていて、給食当番は生徒によって手際よく取り分けられお代わり自由。すばらしいと思いました。地域で生徒みんなをサポートしている温かい学校の様子が感じられる発表でした。その後グループごとに分かれて日頃のPTA活動などの討議、全体協議と意見交換会が行われました。他校のPTA会員さんと交流が出来てとても貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

